

南充市高 2024 届高考适应性考试 (三诊)

日语试题

注意事项: 1. 本试卷共 11 页。满分 150 分。考试用时 120 分钟。

- 本试卷由听力、日语知识运用、阅读理解、写作四部分构成。
- 选择题每小题选出答案后，用 2B 铅笔把答题卡上对应题目的答案标号涂黑：如需改动，用橡皮擦干净后，再选涂其他答案标号。

第一部分 听力 (共 2 节, 满分 30 分)

做题时，先将答案标在试卷上。录音内容结束后，你将有两分钟的时间将试卷上的答案转填到答题卡上。

第一节 (共 7 小题, 每小题 2 分, 满分 14 分)

听下面的 7 段录音，每段录音后有 1 道小题，从 A、B、C 三个选项中选出最佳选项，听完每段录音后，你都有 10 秒钟的时间回答该小题和阅读下一小题，每段录音仅读一遍。

例: 男の人はどのぐらい日本語を勉強しましたか。

A. 6 か月 B. 9 か月 C. 12 か月

1. 新しい日本料理のお店はいつ開店しましたか。

A 昨日

B 一昨日

C 先週

2. 新しい本屋にある本は何ですか。

A 漫画と辞書 B 小口と問題集

C 辞書と問題集

3. 男の人は今何年生ですか。

A 大学 2 年生

B 高校 2 年生

C 中学 2 年生

4. 女の人はどこが痛いですか。

A 右足

B 右手

C 頭

5. 2 人はどうやって行きますか。

A 電車

B 男の人の車

C 女の人の車

6. 男の人はどんな写真を写っていますか。

A 女の人と建物

B 男の人と建物

C 男の人と女人

7. 男の人の夏休みはいつからですか。

A 7月15日

B 8月15日

C 8月31日

第二节 (共 8 小题; 每小题 2 分, 满分 16 分)

听下面 4 段录音, 每段录音后有 2 道小题, 从题中所给的 A、B、C 三个选项中选出最佳选项。听每段录音前, 你将有时间阅读各个小题, 每小题 5 秒钟。听完后, 各小题将给出 5 秒钟的作答时间。每段录音读两遍。

8. 男の人が知らなかったことは何ですか。

- A 富岡さんが入院したこと
- B 富岡さんが会社を休んだこと
- C 富岡さんが仕事を辞めたこと

9. 正しいのはどれですか。

- A 富岡さんは休みを取れた
- B 富岡さんは人間関係がうまくいかない
- C 富岡さんはストレスがたまってる

10. 男の人は小さい頃どんな仕事をしたかったのですか。

- A 警察官
- B ガイド
- C 日本語教師

11. 男の人はなぜ今の仕事を選んだのですか。

- A 旅行が好きだから
- B やりがいがあるから
- C 人々の安全を守りたいから

12. ソファーはどんなごみですか。

- A 資源ごみ
- B 粗大ごみ
- C 燃えないごみ

13. 男の人はこれから何をしますか。

- A 手数料を払う
- B 名前や住所を書く
- C 受付センターに電話をする

14. 男の人はなぜお酒をやめましたか。

- A お酒は体に悪いから
- B 奥さんに怒られたから
- C 仕事に集中できないから

15. 男の人はこれから何をしますか。

- A 仕事をする
- B ガムをかむ
- C スーパーに行く

第二部分 日语知识运用 (共 40 道小题; 每小题 1 分, 满分 40 分)

从 A、B、C、D 四个选项中选出最佳选项, 并在答题卡上将该项涂黑。

16. 長かった夏休みもいよいよ今日_____終わります。

- A. に
- B. で
- C. から
- D. まで

17. 小野さんは私_____車に乗せて、家まで送ってくれました。

A. が B. へ C. に D. を

18. いつもおとなしい山口さんがあんなに怒る_____、とても信じられない。

A. には B. では C. とは D. かは

19. 2巻からなる小説を冬休み中に全部読み_____。

A. きった B. 込んだ C. かけた D. 過ぎた

20. 今日は10日_____太陽が出て、いい天気になった。

A. わりに B. ごとに C. おきに D. ぶりに

21. 「県立図書館は今日は休みですか。」

「ええ、木曜日ですから、休みの_____ですよ。」

A. そう B. はず C. みたい D. らしい

22. 田中さんは、欲しかった家を人に先に_____ので、困っています。

A. 買えた B. 買わせた C. 買われた D. 買わされた

23. 大学院さえ卒業すれば仕事が_____という時代はもう終わりました。

A. みつかる B. みつける C. みつかれる D. みつけさせられる

24. 「おなかがすいていませんか。」

「_____、朝から何も食べていませんでした。」

A. それなら B. それから C. それなのに D. そういえば

25. お宅に帰った_____、ゆっくりお休みください。

A. つもりで B. かわりに C. とおりに D. かぎりに

26. 君の料理、佐藤さんも_____って言ってるよ。

A. 食べたが B. 食べたがる C. 食べたく D. 食べたい

27. 新鮮な空気が入るようにすべての窓が_____。

A. 開いてしまう B. 開けておく C. 開けている D. 開けてある

28. 渡辺さんが空港に着いたそうで、私が迎えに行って()。

A. いきます B. みます C. きます D. しまいます

29. すぐ使わないけど、こんなに安いなら、買って()かな。

A. いよう B. おこう C. あろう D. みよう

30. 隣の赤ちゃんに泣かれて、声が()です。

A. はずかしい B. なつかしい

C. やかましい D. うらやましい

31. 「羨」という漢字は_____読みますか。
A. どこ B. どう C. どの D. どんな

32. 日本でも、我が国の『警世通言』と_____な文学作品が存在している。
A. はっきり B. びっくり C. こっそり D. そっくり

33. その企画案を、もう一度営業部のみなさんと_____しましょう。
A. 検査 B. 検討 C. 検索 D. 検察

34. 電気で運転する車はこれから_____車を替えるでしょう。
A. ガラス B. ガソリン C. ガイド D. ガール

35. 電車は最近遅れ_____だから、歩いて行こう。
A. にくい B. つらい C. ずつ D. がち

36. うちから学校までは自転車の場合は_____15分かかるが、車だとすぐに着ける。
A. およそ B. きちんと C. とうとう D. なるべく

37. せっかくここまで来たので、ゴールまで頑張り続ける_____。
A. まだ B. ためだ C. しかない D. だけない

38. 子どもの試験結果を知る時、怒らないで、_____に言ってください。
A. おそい B. おだやか C. にぎやか D. やさしい

39. 大雪が降った_____、楽しみにしていた旅行が中止になった。
A. せいで B. おかげで C. きっかけで D. 理由で

40. 母が私に誕生日プレゼントを買って_____。
A. やりました B. くれました C. もらいました D. いただきました

41. お爺ちゃんの荷物を持って_____、とても喜んでくれた。
A. いただいたら B. もらつたら C. くれたら D. あげたら

42. 大場：お父さまのお名前は何と_____か。
野村：野村太郎と_____。
A. もうします・いいます B. もうします・もうします
C. おっしゃいます・もうします D. おっしゃいます・おっしゃいます

43. お忙しいとは_____が、宜しくお願ひいたします。
A. なさいます B. そんじます C. いたします D. ござんじです

44. 本当に感謝します。

A. 助けてもらうと B. お助けして C. 助けてくださいり D. お助けあげて

45. 客：あの、水色のハンカチってありますか。

店員：_____。

A. ぞんじます B. なさいます C. いたします D. ございます

46. 上野駅から、仙台行きの電車が毎日 3_____出ます。

A. 本 B. 列 C. 番 D. 輪

47. 面接試験では、服装_____、話し方などにも注意する必要がある。

A. の反面 B. はもちろん
C. としては D. に過ぎず

48. 中学校に_____から声が変わった。

A. 入れ B. 入って C. 入り D. 入ろう

49. どうして森さんは毎日こんなにたくさん薬を_____

A. 食べませんか B. 飲むんですか C. 飲みましょうか D. 食べたいんですか

50. 歩きながら考えていたので、信号が赤になったことに_____。

A. 気にしなかった B. 気がしなかった
C. 気に入らなかった D. 気が付かなかった

51. 甲：昨日の試験、_____？

乙：ちょっと難しかったけど、まあまあできたよ。

A. どうだった B. どうしょうか C. どうしたらいい D. どうしたい

52. この辺は昔から桜の木が多い_____桜木町と呼ばれるようになったのである。

A. ことから B. からして C. だから D. ものから

53. 甲：再来月の選挙に出るかな。

乙：僕は今それを考えている_____なんだ。

A. ため B. つもり C. ところ D. とおり

54. 内容をご確認の_____、サインをお願いいたします。

A. 上は B. 上に C. 上で D. 上を

55. 『中日平和条約』は_____年に中国の北京において締結されました。

A. 1978 B. 1979 C. 1980 D. 1982

第三部分 阅读理解（共 20 道小题；每小题 2.5 分，满分 50 分）

□□下列短文, 从 A、B、C、D 四个□□中□出符合文章内容的最佳□□, 并填写在答□卡上。

(一)

ある調査では、テレビ番組を「毎日のように」利用する人は7割を超えるが、2020年以降減少が続き、特に20代では63%から40%と大きく減少した。(ア)、コミュニティサイト(社交网站)に毎日接する人が多くなったという傾向が頭著になった。

メディアの効用では、「世の中の出来事や動きを知る」うえで役に立つメディアとして、全体ではテレビが59%とほかのメディアと比べて大好評になっている。年層別をみると、テレビは60代以上で7割以上と全体より高いが、20代は3割に満たない。彼らはコミュニティサイトからもニュースや情報を得ると思っているからだ。

また、「感動したり、楽しんだりする」「人と共通の話題を得る」を年層別でみたところ、テレビが60代以上で5~6割と全体より高い。一方、コミュニティサイトをみると、20代は4割、30代も約3割と全体より高いのに対し、60代は約1割だ。

メディア利用と(イ)の関係では、テレビや動画の視聴は若いほど同じようなものに偏る傾向があり、好きなもの・ことに対する積極的な意識が関係していた。また、自分と似たような思考を求める意識も関係していた。「多くの人が賛成している情報は、信頼できる」と思う人が多く、メディアが自分に影響を与えていると思う人も多かった。

56. 「テレビ番組を『毎日のように』利用する人」について、正しいのはどれか。

- A. 2020年テレビ番組を利用する人が40%に減少した
- B. 2020年テレビ番組を見る人が63%で6割を超えた
- C. 今では、テレビ番組を毎日見る人が少なくなった
- D. 今では、テレビ番組を毎日利用する人が多くなった

57. 文中の(ア)に入れるのに最も適当なものはどれか。

- A. 一方
- B. だから
- C. それでは
- D. それから

58. 文中の「彼ら」は誰のことを指すか。

- A. 20代以上
- B. 30代
- C. 40代
- D. 60代

59. 文中の(イ)に入れるのに最も適当なものはどれか。

- A. 頻度
- B. 影響
- C. 意識
- D. 情報

60. この文章の内容に合っているのはどれか。

- A. 自分との考えが同じではなくても納得できる
- B. 好きなものを求める意識は特に若年層に現れている

- C. メディアの利用頻度が高いほど影響を感じる人が少ない
- D. 自分だけが知らないことがあっても恥ずかしくないと思う人が多い

(二)

尊敬している人に褒められれば、すごく嬉しいと思うし、励まされれば頑張ろうと思うし、お礼を言わればやってよかったと思うし、責められれば反省する。しかし、軽蔑している人に褒められても嬉しいだろうし、励まされても「おまえが頑張れよ」と思うかもしれないし、叱られたら反発することもあるだろう。同じことを言っても、誰が言ったかによって意味は変わる。

チームを作る際にも「基点」になるのは自分なのである。そう考えれば、巷（社会、民間）で常識とされている「褒める」→「モチベーション（动机）が上がる」という方程式すら当てはまらないことがあるのがなぜか、よくわかるはずだ。

従来の組織行動は、誰が行っても同じ結果が出るという意味での狭義の「再現性（再次出現）」を求めるあまり、このことが盲点となっているように思われる。だからこそ、リーダーシップは最もよく研究されてきたにもかかわらず、わかつていないことが最も多い領域と言われる事態に陥っているのであろう。

自分に自信がある人ほど、心から尊敬する人のもとで働きたいと願うものだ。自分が培ってきた能力と限られた時間を、尊敬できる人のために、（ア）できるだけ意味あることに使いたいと思うのは自然なことだからだ。

（西條剛央『チームの力構造構成主義による“新”組織論』筑摩書房）

61. 尊敬している人に励まされれば、人はどうなるか。

- A. やる気が出せる
- B. だんだん反発するようになる
- C. よかったと思って、別に何もしない
- D. 以前したことを真剣に反省するようになる

62. 下線部「方程式すら当てはまらない」の理由として、最も適当なものはどれか。

- A. 尊敬している人に責められることもあるから
- B. 誰が何を言っても聞きたくないこともあるから
- C. 尊敬している人に対して反発することもあるから
- D. 尊敬していない人に褒められても嬉しいから

63. 下線部「このこと」が指す内容として、最も適当なものはどれか。

- A. 褒めることとモチベーションは無関係だということ
- B. 褒めれば褒めるほどモチベーションが下がるということ

- C. 褒めても必ずしもモチベーションが上がるとは限らないこと
- D. モチベーションを上げるために褒める必要があるということ

64. (ア)に一番適当なものは以下のどれか。

- A. ところが
- B. あるいは
- C. そのため
- D. それにしては

65. 文章の内容と合っているものは以下のどれか。

- A. 尊敬している人に殴られても大丈夫だ
- B. チームを作るとき、仲間のことが「基点」になる
- C. 給料さえ高ければどんな人にも力を尽くして頑張れる
- D. 自信がある人はだいたい尊敬している人のもとで働きたい

(三)

NHK が日本人が好きな料理について調査したことがある。好きな料理といつても、毎日口にすることのできない豪華な料理ではなく、日常的食べている料理についての具体的な好みについてである。

それによると、「刺身」が好きなものの筆頭であった。次いで、「焼き肉」「菜の煮物」「すし」「焼き魚」「てんぷら」「カレーライス」とつづく。

好みはまた、男女によっても違いがある。男性の好きなものは、「刺身」「焼き魚」「カレーライス」「すき焼き」などで、女性の好みは「すし」「野菜の煮物」「サラダ」「酢の物」などであった。若い人達も西洋風の料理が好きだ。

さらに、地方によっても好みは異なってくる。「刺身」は全国的に一位を占めている。いかに日本人は温かい、白いご飯に刺身という組み合わせが好きかが分かる。大きな特色としては、北海道や東北地方では「刺身」が全国平均より低く、「カレーライス」がベストスリーに入っていることだ。関東や中部地方では、「野菜の煮物」の人気が高く、中国地方では、「酢の物」、九州では、「すき焼き」となっている。

全体的にみると、食べ物の好みが多様化している。そして、あっさりとしたものが好きという傾向がある。「刺身」「野菜の煮物」「焼き魚」などの好みは和風料理志向である。味付けでも、甘口で、薄味で、さっぱりしたものへの好みが最も強く、若い人でも必ずしも油っこい物を好むわけではないという。

日本人の食生活はかなり豊かになってきている。ただ空腹を満たすための食事ではなく、健康に配慮し、ゆっくりと食べて雰囲気を楽しむ人も増えてきた。とはいえ、その一方でうどんやそば一杯だけをあたふたと胃袋に流し込むサラリーマンも多い。食は文化である。食事に時間をかけるという習慣が、多忙な日本人にも取り入れられるものかどうか。ゆとりが叫ばれる昨今、食事の中身はもちろん、食べる雰囲気にもっと気を遣ってもよさそうに思われるのだが。

66. 文中の「それ」は、何を指しているか。

- A. 男女の好みが違うこと
- B. NHK が日本人が好きな料理について行った調査
- C. 日常的に食べている料理についての具体的な好み
- D. 毎日口にするものは豪華な料理であるかどうかについての調査

67. 文中には「日本人の食生活はかなり豊かになってきている」とあるが、それはどういうことか。

- A. 日本人はいろいろな味付けのものを好むようになってきたこと
- B. 日本人は和風料理だけでなく洋風のものも好むようになってきたこと
- C. 日本では、最近魚や肉や野菜などを材料とした様々な料理が増えできたこと
- D. 食事に対して、健康のことや食事の雰囲気なども考えるようになってきたこと

68. 文中の「あたふたと」とはどれと意味が同じか。

- A. 急に
- B. 慌てて
- C. のんびり
- D. さっそく

69. 日本人の好みの特色について、筆者の見方と合わないものはどれか。

- A. 若い人達の好みには西洋風の料理が含まれている
- B. 全体的に見ると、日本人の好みは一つの物に偏ってはない
- C. 好みは男女の間で、また地方によっても同じというわけではない
- D. 若い人達は油っこいものを好むが、一般的にはさっぱりしたものへの好みが強い

70. この文章の趣旨に合っているものはどれか。

- A. 食文化の多様性は、男女間や地方に好みの違いを生み出すきっかけとなっている
- B. 日本人の食生活はかなり豊かになったのだから、今度は欧米風の食事の習慣を身につけていきたいものだ
- C. 日本人はあっさりとしたものへの好みがもっとも強く、したがって将来的にも和風料理が優位を保つていいだろう
- D. 食は文化と言われているものだから、日本人も食事はもちろんのこと、食べる雰囲気にも気を配っていきたいものだ

(四)

日本人の生活習慣も、時代とともに変わっていく。ほんの少し前までは、春や秋になると、畳を乾燥させるために、家の中から畳を外に出す光景があちこちで見られたものである。どんなに忙しい生活をしている人でも、それだけは続けてきた。畳は暮らしの中に季節感を作り出していたのである。

最近では、畳がだんだん見られなくなってきた。畳の上に座る、畳の上で家族みんなで食卓を囲

む、畳の上に布団を敷いて眠る。客が来れば、その畳の上に手をついてあいさつする。それがあたりまえだった生活は、つい昨日のことである。畳は日常生活と共にあったのである。

畳という言葉は、古い時代の文学や記録にも出ている。昔から日本人の生活の中にあったものと考えてよいのであろうが、そのころは、床に敷く布や毛布のようなものを畳と呼んでいたらしい。そして、使わない時は畳んでしまっていた。(ア)、「たたむ」ものだから畳ということばが生まれたのだろうと思われる。

また、昔の詩の中にこうある。「旅に出た人の使っていた畳は動かしても汚してもならない」と。なぜなら、人は旅に出ている時でも故郷に自分の心を残しており、その心は畳の上にも残っている。その畳を留守のあいだ大事にしないと、旅で危険な目にあったり、病気になったりする、と信じられていたからだ。昔は、畳はひとりひとりが自分で使うものだったのである。

やがて時代は変わり、畳はしだいに現在のような形と大きさのものになっていく。一人の人が寝られるぐらいの大きさが畳一枚の標準となり、それに合わせて部屋の大きさも決められるようになった。どんな部屋でも、「四畳半」とか「六畳」というように畳を組み合わせて敷くことができる大きさになったのである。また、畳の素材も、湿気の多い日本に合うように工夫されていった。

最近ではすっかり目立たなくなった畳も、長い歴史を持ち、日本の生活文化と深いつながりを持っているのである。

71. 文中の「それ」を指す意味はどれか。

A. 畳を外にして干すこと	B. あちこちで畳が見られること
C. 忙しい生活をすること	D. 生活習慣が時代とともに変わること

72. 文中に「昔から日本人の生活の中にあった」とあるが、昔の畳はどのようなものだったのか。

A. 現在の畳と同じものだった	B. 布や毛布とともに使うものだった
C. 使わないときはたたんでおくものだった	D. 旅に出るときに持つて行くものだった

73. 文中の(ア)に入れるのに最も適当なものはどれか。

A. つまり	B. ところが	C. さて	D. けれども
--------	---------	-------	---------

74. 第4段落で筆者がいちばん言いたいことは次のどれか。

A. 畳は長い歴史を持っている	B. 畳は個人が自分のものを持っていた
C. 畳は神さまと同じだった	D. 畳は汚したりしないように注意して使った

75. もしこの文章にテーマをつけるとしたら、最も適当なものはどれか。

A. 畳と日本の旅	B. 畳と日本の気候
C. 畳と日本人の生活	D. 畳と日本人の故郷

第四部分 写作（满分 30 分）

假设你是李华，现正在读高三。前几天黄金周放假时，王老师布置了日语假期作业，但是你却没按时完成，所以老师很生气。请用日语给老师写一张留言条表示歉意。

写作要点：

1. 表明你的歉意；
2. 具体阐述你没按时完成作业的原因；
3. 说明你接下来的打算。

写作要求：

1. 字数为 300~350 字；
2. 格式正确、书写清楚；
3. 使用「です・ます」体。